車重が軽いことによる軽快な走りは「ゴルフGTI」でしか得られない喜び。

YouTube 動画を見てみよう!

【iPhone&スマホ】からは、下のQRコードを読み取って、forgedpress/AUDI VW PRESSのチャンネルにアクセス。写真と同じクルマの動画を選んでご視聴ください。【PC】youtubeの検索バーにforgedpressと入力し、forged press/AUDI VW PRESSのチャンネルから写真と同じクルマの動画を選んでご視聴ください。

最高出力220psのエンジンを、NEUSPEEDのパワーモジュールで265ps程度まで引き上げた。サブコンピューターだから、ダイアグノシスに掛けても使用履歴が残らないのがポイント。車検のとき、ディーラーに入庫せさるときには簡単に取り外せる。

リアマフラーをアクラポヴィッチのチタン製スリップオンラインに交換。カーボンテール。車検対応のeマーク付きで、サウンドはジェントルだ。

01

02

03

01ドアピラーとドアのスピーカーをカロッツェリアのリーズナブルなシステムにチェンジ。02ドアもデッドニング作業済み。ドアだけデッドニングしても音質の向上は明らか。約5万円程度でこの静粛性が得られるのなら安い。03トランクのカバー下にZAPCOのアンプを設置。

VOLKSWAGEN GOLF 7 GTI

軽さを武器にRを出し抜く!

VOLKSWAGEN GOLF 7GTI_SPEC.

□ホイール　ag form wheel>>M621　F&R:19×8.5 フィニッシュ:ブラッシュドリキッドシルバー □タイヤ　ミシュラン>>パイロットスーパースポーツ F&R:235/35R19 □サスペンション　H&R>>ローダウンスプリング □エンジン　NEUSPEED>>パワーモジュール □エキゾースト アクラポヴィッチ>>スリップオンライン チタンマフラー □エクステリア　ストンピンアーク>>Fリップスポイラー □オーディオ　ZAPCO>>アンプ、カロッツェリア>>TS-V173Sスピーカー、ドアデッドニング

ゴルフ7になって、GTIが曖昧なグレードになってしまったと言われる。確かにスペックだけ見れば、ゴルフ7Rは同じ2.0Lターボエンジン搭載でも、タービンが大径化されて280psもパワーがあるし、4WDだから走りは安定しているし、完成度がすごく高い。

一方、ゴルフ7GTIでは最高出力が220psと抑えられ、前輪駆動であるし、動力性能的にはゴルフ7Rを上回るところがなさそうだけど、最大の武器「軽さ」を備えている。カタログスペックを見ると、ゴルフ7Rの車両重量1500kgに対して、ゴルフGTIの車両重量は1390kgと110kgも軽い。

この軽さを生かすチューニングでゴルフ7GTIをイジってあげたら、運転の楽しさではゴルフ7Rを上回るんじゃないか。そんなコンセプトで、このゴルフ7GTIは改良が進められた。製作を受け持ったのは、ゴルフRショップとして知られる東京・アプローズ。

先に手を入れたのはパワー系だ。軽さを生かすにも、ノーマルのゴルフ7Rと同程度の馬力は欲しい。そこでNEUSPEEDのパワーモジュール(サブコン)で45psのエクストラパワーを与え、アクラポヴィッチのチタンリアマフラーを組み合わせることで、推定270ps前後をゲットした。

パワーアップをほどほどに抑えた理由は、とりあえず車検対応にしたいため。そのためサブコンとeマーク付きマフラーを選んだというわけ。もっとパワーを引き出したいなら、ECUソフトのインストールってことになるんだけど、それは今のところオーナーが望んでいないんだとか。

また前輪駆動を生かした軽快な走りのために、サスはH&Rのローダウンスプリング、ホイールにはフローフォーミング製法で作られた軽量なアバンガードM621の19×8.5とミシュラン・パイロットスーパースポーツ235/35タイヤを選んで、270psを路面に伝えるトラクションを確保。

乗ったら「このGTI、めっちゃ面白い!」というライトウェイト感覚満

CALL>>アプローズ [03]3330-2355　http://applause-audio.com　　OWNER>>XXサン

リップスポイラーは汎用リップスポイラーという新しいスタイルを築いたストンピンアーク製。